

○承認した経営革新計画の概要（平成30年度）

承認件数：12件

企業名	有限会社幸伸食品	代表者	久保 透
住所	吉田郡永平寺町諏訪間 33-15	電話	0776-63-4370
業種	その他の食品製造業		
経営革新計画の基本類型	新商品の開発又は生産 商品の新たな生産または販売方式の導入		
経営革新のテーマ	小売業向販路から業務用食材販路を主とした「多用途販路」への 転換及び商品開発		

企業名	株式会社美浜商事	代表者	北山 道雄
住所	三方郡美浜町佐柿 34-10	電話	0770-32-0013
業種	家具製造販売業		
経営革新計画の基本類型	新商品の開発又は生産 新役務の開発又は提供 役務の新たな提供方式の導入のその他の新たな事業活動		
経営革新のテーマ	新事業モデル構築のための新製品開発		

企業名	西協物産株式会社	代表者	西出 則道
住所	あわら市春宮 3-2-16	電話	0776-53-3737
業種	建築材料卸売業		
経営革新計画の基本類型	新商品の開発又は生産		
経営革新のテーマ	環境にやさしいリサイクル骨材の製造・販路事業		

企業名	株式会社宮腰	代表者	宮腰 一裕
住所	福井市森田新保町 7-15	電話	0776-56-1023
業種	管工事業		
経営革新計画の基本類型	商品の新たな生産または販売方法の導入		
経営革新のテーマ	フランジ加工を高速化し、単能機・低コスト対応の施工体制を構築する		

企 業 名	A C 構造検査株式会社	代 表 者	安藤 博美
住 所	福井市丸山 1 丁目 1117 畑中ビル 1 階	電 話	0776-63-5010
業 種	商品・非破壊検査業		
経営革新計画の基本類型	新役務の開発または提供		
経営革新のテーマ	<u>ドローンによる農薬散布と精密農業のサービス</u>		

企 業 名	有限会社北日商会	代 表 者	大田 隆則
住 所	福井市宝永 2-8-1	電 話	0776-24-0168
業 種	各種商品卸売業		
経営革新計画の基本類型	新商品の新たな生産または販売の方式の導入		
経営革新のテーマ	<u>自社ショッピングサイト構築による、EC 事業への進出</u>		

企 業 名	株式会社 PANTES 365 Japan	代 表 者	今井 薫
住 所	福井市松本 4-12-14	電 話	0776-28-0365
業 種	パン・菓子製造業		
経営革新計画の基本類型	商品の新たな生産または販売の方式の導入		
経営革新のテーマ	<u>うず巻き層型食パンの量産化による、「あん食パン」に特化した BtoB 販路の拡大</u>		

企 業 名	株式会社明道館	代 表 者	八木 信人
住 所	福井市大手 2-15-11	電 話	0776-50-2960
業 種	他に分類されない教育、学習支援業		
経営革新計画の基本類型	役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動		
経営革新のテーマ	<u>大脳生理学・心理学に基づく SBT プログラム・自立型人間育成原田メソッド・七田式右脳教育・右脳速読を組み入れた顧客支援体制の構築</u>		

企 業 名	有限会社森川レース	代 表 者	森川 英樹
住 所	福井市上野本町 37-8	電 話	0776-43-0177
業 種	綱・網・レース・繊維素製品製造業		
経営革新計画の基本類型	新商品の開発または生産		
経営革新のテーマ	<u>ヴィンテージレース【世界初】を開発し、海外販路の開拓に取り組むことで、日本有数のレースメーカーの地位獲得を目指す。</u>		

企 業 名	旭木工株式会社	代 表 者	佐々木 俊朗
住 所	福井県丹生郡越前町朝日 8-6-1	電 話	0778-34-0065
業 種	一般土木建築工事業、喫茶店		
経営革新計画の基本類型	新商品の開発または生産		
経営革新のテーマ	<u>高周波接着方式を導入し、機能性フラッシュパネルを開発することで、事業を拡大する</u>		

企 業 名	株式会社オナガメガネ	代 表 者	小永 純一
住 所	福井市木田町 2212-2	電 話	0776-34-1230
業 種	身の回りの品卸売業		
経営革新計画の基本類型	商品の新たな生産又は販売の方式の導入		
経営革新のテーマ	<u>商品企画力を生かした純国産コミコミ価格メガネ専門店「ふくいめがね MITTE (ミッテ)」の首都圏展開について</u>		

企 業 名	株式会社龍泉刃物	代 表 者	増谷 浩司
住 所	越前市池ノ上町 49-1-5	電 話	0778-23-3552
業 種	利器工匠具・手道具製造業		
経営革新計画の基本類型	新商品の開発または生産		
経営革新のテーマ	<u>富裕層をメインターゲットに据えた高級商品の開発と直販比率向上等の取組みを通じた利益の最大化～100年企業に向けた、伝統技術を現代ニーズに活かし続けるための土台作り～</u>		